レース報告

SUPER GTレポート

KeePerはTOM'Sとタッグを組み「#37 LEXUS TEAM KeePer TOM'S」を結成して、国内トップクラスのカーレース、スーパーGTに参戦。今回は、今季初の表彰台を獲得した第4戦からオートポリスで健闘した第7戦までのレース結果を紹介します。

波乱のレースを制して、今季初表彰台2位獲得!

2013 SUPER GT 第4戦
inスポーツランドSUGO
7／27(土)予選・7／28(日)決勝

第4戦

2013 SUPER GT 第4戦がスポーツランドSUGOにて開催された。メインスタンドに設置された特設応援席に訪れた多くのKeePerファンとともに決勝当日を迎える。予選を10位で迎えた決勝当日は、前日の雨にもかかわらずドライコンディションと良好。

アンドレア・カルダレッリ選手は、10位のままファーストラップを抜け、着実に順位を上げて5位に。展開が落ち着いたところでGT300クラスのマシンが絡み始めると、狭いSUGOでスペースを見つけることに苦しみ、4位とのギャップをキープしたまま周回。35周目に早めのピットインを行い、タイヤ交換とドライバーを伊藤大輔選手に交代した。

ピットアウト後、暫定11位でコースに復帰。48周目、周囲がピットインを行うことで順位を5位まで回復させる。トップグループと同様のペースで周回を重ね迎えた68周目には、前を走る4台が接近戦を繰り広げ、直後の70周目、トップのマシンがスピン、その後ろを走る2台が激しいクラッシュでリタイアとなり2位へ浮上。その2周後にはトップを走るマシンがバーストに見舞われ一時トップに立つ。しかし、残り9周の時点で直後のマシンにかわされ、ギャップを1秒以内に追いつめるも、わずかに届かず2位表彰台でチェッカーとなった。

猛暑のなか、粘りのある走行で5位入賞!

2013 SUPER GT 第5戦
in 鈴鹿サーキット
8／17(土)予選・8／18(日)決勝

第5戦

鈴鹿サーキットで行われた第5戦はシリーズ最長の1000kmレース。KeePer TOM'Sは、決勝レースを7番手ポジションからスタート。スタートドライバーは伊藤選手が務め、タイヤの摩耗を気遣いながら順位を上げていく。カルダレッリ選手はSC(セーフティーカー)が導入される前にポジションを1つアップしたものの8位まで順位を落とす。しかし両選手の落ち着いた粘りのある走行で5位入賞となった。

鈴鹿1000kmは、SUPER GT唯一の耐久レースで、暑い上に、いつもの3倍以上の距離を走る過酷なレースだ。昨年は、上位の車が次々に潰れていく中、生き残ることができ2位入賞。今年は、まずまずの順当なレースに終始した。約6時間あまり、猛暑の中、両選手ともよく健闘してくれた。

不安定な天候、熾烈な争いのなか、見事3位入賞!!

2013 SUPER GT 第6戦
in 富士スピードウェイ
9/7(土)予選・9/8(日)決勝

第6戦

第6戦は、富士スピードウェイで開催された。決勝レースを最前列2番手からスタートするKeePer TOM'Sは、カルダレッリ選手が2位をキープしたままオープニングラップを走り抜け、15周も過ぎると、3番手を引き離しながら徐々にトップとの差を縮めていく。20周目に入りいよいよ前を伺おうとしたその時、32号車のタイヤが突如バースト。数周SC先導で走り、迎えた24周目には、1台を除くほとんどのマシンがピットに飛び込んでくる。36号車と同時ピットとなるKeePer TOM'Sはピット作業位置へ入れるタイミングが僅かにあわず、ピットアウトした時には5位まで後退。トップが見えていただけに、このレースでチームが一番悔しかった瞬間かもしれない。

交代した伊藤選手が4番手を奪い、さらに前を狙おうとしたところ、ホームストレートに突然の雨が降りだし、各車タイヤの様子を伺いながら走行を続ける間に、再び5番手に。2～5番手が団子状態で走行を続けるなか、2番手を走るマシンにペナルティがあり順位を下げ、トップのマシンもピットへ入ってきたため、3番手に順位を上げたKeePer TOM'Sはトップ3台と熱戦を繰り広げるも、そのままチェッカーを受ける。優勝を狙っただけに悔しさの残る表彰台となったが、これでシリーズはトップまで6ポイント差にKeePer TOM'Sを含む5台以上がひしめく大接戦となり、次戦を迎える。

厳しい展開の中、9位入賞

2013 SUPER GT 第7戦
in オートポリス
10/5(土)予選・10/6(日)決勝

第7戦

台風上陸が予想されていたが無事開催された第7戦。しかし、初日は濃霧のため、フリー走行・公式予選ともに中止になり、日曜日の午前に25分だけの一発予選、午後に予定通り決勝を行うという1DAY開催が決定した。

朝の予選を7位で通過したKeePer TOM'Sは、カルダレッリ選手が決勝前半のドライブを担当。スタート直後、8位にポジションダウンをするが、5周後には7位に回復。しかし、この後KeePer TOM'Sは激しいオーバーステア(マシンが曲がりすぎてしまいスライドする)に悩まされ、10位までポジションを下げ、27周目にピットへ向かう。

ドライバーを伊藤選手に交代。10位をキープし、さらに上位を狙うも34周目にはスピンをしたマシンがKeePer TOM'Sの前でコースをふさぐ形となったことでコースアウトを喫し、不安を抱えながらの走行となった。伊藤選手は、タイヤの摩耗に加え、マシンのアンダーステア(マシンが曲がらず、加速が鈍る)と戦う苦しいレースでも大きなペースダウンをすることなく走り続け9位完走。シリーズポイントを獲得という結果となる。レースはチームメイトの36号車が残り3周での逆転劇で優勝を飾り、マシンの速さに期待を持って最終戦もてきへ向かう。

「#37 KeePer TOM'S SC430」を応援しよう! 企画 第4弾

11／23(土)・24(日) JAF GP富士スプリントカップ 2013 ～富士スピードウェイ～ 観戦チケット(2日間共通券)をペア50組100名様にプレゼント!!

キーパーコーティングをご愛顧の多くの皆様をSUPER GTにご招待します!
「LEXUS TEAM KeePer TOM'S」のピット前グランドスタンド席を陣取り、そろいのキャップで盛り上がりましょう!

巻末のハガキにてふるってご応募ください!【申込締切:11/11(月)】

※各会場までの交通費はご負担でお願いします。
※当選者の発表は、発送をもって替えさせていただきます。ご了承ください。

この企画に関するお問合せは・・・アイ・タック技研(株) 0120-517-158